

あけましておめでとうございます。五月に新元号へと切り替わり新たな時代の幕開けです。平成の天皇陛下と皇后美智子さまは、平和への祈りや、さまざまな人々に寄り添うお姿がとても印象的でした。心改まる新年、会員の皆様にとって希望にあふれる一年となりますように。

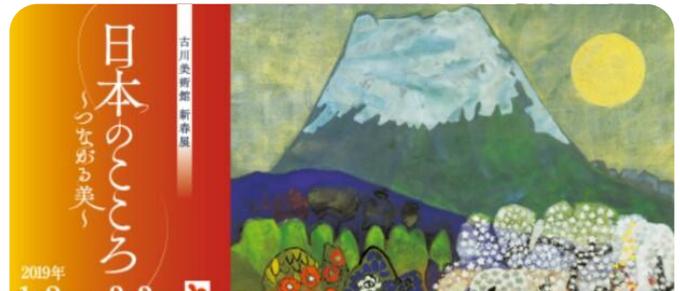
## 例会のご案内

### 新年会 古川美術館新春展「日本のこころ～つながる美」

受け継がれていく日本のこころを伝える日本画・洋画・工芸品をご一緒に観賞いたしましょう。

(学芸員による解説付き)

その後、ランチ会場「カルチュラタン」にて新年会を楽しみたいと思います。そして、まだ続きます。食後に分館為三郎記念館にて、素敵な日本庭園を眺めながらカジュアルなお茶席で、お抹茶と和菓子を頂きましょう。(こちらは自由参加です。別途 500 円)



引用：古川美術館公式ホームページ

<http://www.furukawa-museum.or.jp/archives/exhibit/20190102>

日時：1月27日(日) 10時50分 古川美術館内ロビー集合

会費：3,300円

申込み：東海父母懇ホームページ <http://tokai-fubokon.sakura.ne.jp> 問い合わせより

締切り：1月17日(木) ☆先着 25 名様

### 劇団四季「ノートルダムの鐘」

フランスの文豪ヴィクトル・ユゴー原作。

緻密に作り上げられた人間ドラマは「人間の光と闇」を書き出し、私たちに人間の本質を問いかけます。

原作寄りの作風のため大人の心を震わせると評判です。

日時：3月17日(日) 13時～

会場：名古屋四季劇場

金額：S席 10,800円

申込み：※募集人数に達した為、締切りました。



引用：劇団四季公式ホームページ

<https://www.shiki.jp/>

## 例会報告

### 吉例歌舞伎顔見世

10月14日、朝晩の空気に冷んやり肌寒さを感じ始めた爽やかな秋晴れの日、私はわくわくしながら建て替わった御園座を初めて訪れ、顔見世公演を鑑賞させて頂きました。

昼の部の演目はどれも印象的でしたが、中でも「野晒悟助」では、土器売の娘お賤と扇屋の娘小田井の二人から求婚される侠客の悟助の颯爽とした姿が大変痛快でした。町人文化に描かれた義理、人情、恋愛に深く引き込まれつつ、最後の四天王寺山門の場面では、音羽屋の傘が舞う中での見事な立廻りに思わず拍手を送りました。

今回は、終演後の茶話会にも皆様と御一緒させて頂き、観劇の余韻まで共有させて頂きたいと願っております。

役員の皆様方には、お忙しい中いつも大変お世話になりまして、今回もこのような楽しい一日を過ごさせて頂きましたことに、心より深く御礼申し上げます。有難うございました。

H.K さん

### シルク・ドゥ・ソレイユ

初冬の12月2日に名古屋ビッグトップにて「キュリオス」を鑑賞しました。

今回の演目は、1984年に誕生したシルク・ドゥ・ソレイユの創設30周年を記念して制作された特別な作品でした。舞台は、産業革命の時代を彷彿とさせながら近未来を感じさせる雰囲気のものでした。それはまるで、目の前に繰り広げられる上質なファンタジーの世界とハラハラドキドキのアクロバティックな技の連続でした。

上演中は、「キュリオス」の意味の通り「好奇心」を抱えた創造の旅をしているようでした。

良席のチケットを準備して下さった担当役員の方々のご尽力のおかげで、参加者一同、心温まるひとときを過ごしました。心より御礼申し上げます。

T.W さん K.A さん



引用：御園座公式ホームページ

<https://www.misonoza.co.jp/>



引用：キュリオス公式ホームページ

<http://www.kurios.jp/index.html>